

# 29-1

# GPSブイ



- (導入による効果)
- 仕掛けた漁具の位置を送信し、プロッター上で一定時間でのモニタリングが可能。
  - 漁具引き上げ時にすぐに見つけられるため、約20%の燃料費削減を実現。
  - 漁獲があった場合にプロッターにてマークを入力すれば、どの海域にどのように漁具を流した場合に漁獲があったのか記録を残せる。
  - 画像データをSDカードで取り出し、PCでもブイによる操業データを保存・確認が可能。



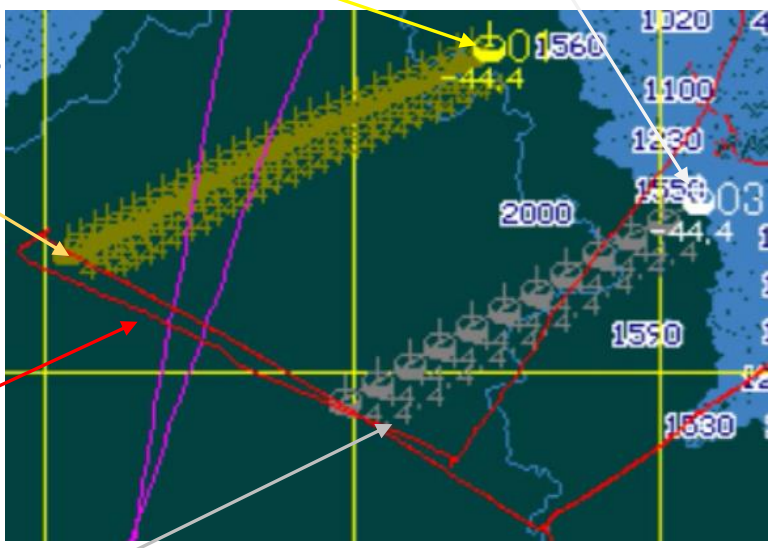
漁具を仕掛けた位置から画面、右上の方向にブイが流されている。

1つ目のブイ 最新の位置

2つ目のブイ 最新の位置

1つ目のブイ 漁具と一緒に最初に海に入れた位置

自船航跡 このルートを守りながら延縄を投入



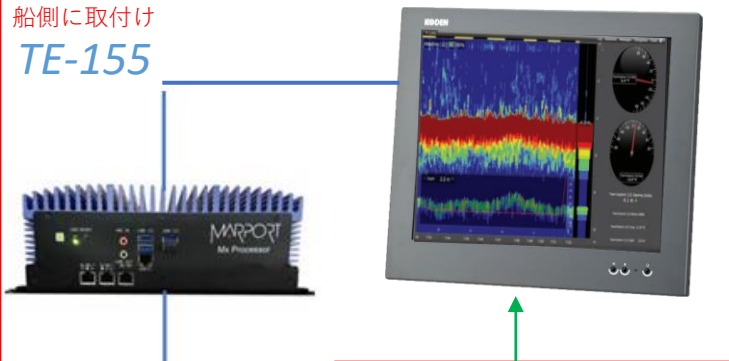
2つ目のブイ 漁具と一緒に最初に海に入れた位置

- 希望価格(税別)** ※KGV-555には送信機が2セット付属します
- KGV-555(GTD-121): 1,645,000円
  - KGV-555(GTD-161): 1,904,000円
- 付属品**
- 送信機(GVT-100): 327,000円
  - 受信機(GVR-100): 420,000円
  - 充電器(GVC-100): 70,000円
  - GPSセンサー(GPS-21): 85,000円
  - GPSコンパス(G1): 274,000円
  - GPSプロッター(GTD-121): 548,000円
  - GPSプロッター(GTD-161): 740,000円
- 連絡先: 最寄りのKODEN営業所** <sup>1</sup>

# 29-2

# トロールフィッシュシステム

船側に取付け  
TE-155



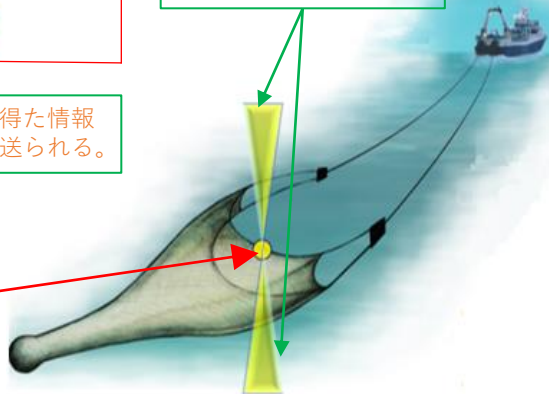
船内のモニターに網口の状況が映し出される。

網口の上部に取付け  
たセンサーから、上下  
方向に音波を発射し探  
索する。

網側のセンサーで得た情報  
が船底の受信機に送られる。



網側に取付け



## (導入による効果)

- 底曳船に装備することにより、網口の魚群、水温、深度、ピッチ/ロールの表示が可能。
- 網口の海底からの深度を把握する事で、底曳網の破損を防止し、10%収益性の向上に繋がる。
- 網口の魚群量を把握する事で、効率的な操業が可能となり、30%燃料費削減が期待できる。
- 記録器にて映像の保存と再生、取り出しが可能。後の操業計画のための分析に利用できる。

## 希望価格(税別) ※TE-155は表示部無し

• TE-155: 7,200,000円

## 付属品

- LCDモニター(15インチモニター): 170,000円
- LCDモニター(17インチモニター): 200,000円

連絡先:最寄のKODEN営業所

# 29-3

# 魚群探知機



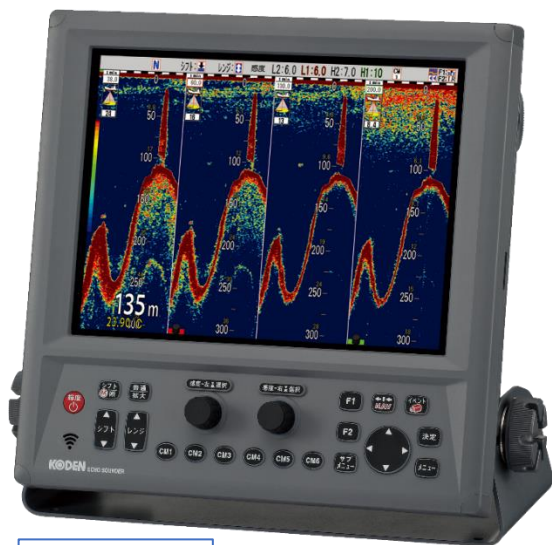
GPSプロッター

## (導入による効果)

- 魚群探知機によって発見した漁礁の位置を、プロッター上でイベントメモリーとして記憶可能。表示にない漁礁を記録できるので漁獲効率が10%向上
- プロッター上で水深、水温に応じた航跡を描画可能。潮目や海底地形のより正確な把握ができ、10%以上の燃料削減に寄与。
- SDカードで魚探から海底や魚群データ、プロッターから航跡、位置データを画像としてそれぞれ取り出し可能。



イベント・水温・水深出力



魚群探知機



測深・测温

## 希望価格(税別)

- CVS-872D(GTD-121): 1,561,000円 / (GTD-161): 1,820,000円
- CVS-875D(GTD-121): 1,733,000円 / (GTD-161): 2,992,000円
- CVS-877D(GTD-121): 1,512,000円 / (GTD-161): 1,771,000円

## 付属品

\*877Dは表示器無し

- LCDモニター(15インチモニター): 170,000円
- LCDモニター(17インチモニター): 200,000円
- GPSセンサー(GPS-21): 85,000円
- GPSコンパス(G1): 274,000円
- GPSプロッター(GTD-121): 481,000円
- GPSプロッター(GTD-161): 740,000円

連絡先: 最寄りのKODEN営業所